

2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
設計製図 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	岩田 明士 他 4 名			実務 経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
<p>アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。 独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年ほど行う。 資格:一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級</p>											
授業概要											
<p>この授業では、各自が自主的に課題を考え、スケジュール管理をしていく。各スタジオの担当教員とディスカッションを繰り返すことにより、作品の密度を高めていく。講評会を何度か行うことにより発表する能力も身に付けていく。</p>											
到達目標											
<p>この授業では、公共建築物をテーマにする場合は基本設計レベル(ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、3Dモデル等)をまとめる能力を身につけることを目標とし、住宅系建築物をテーマにする場合は構造・法規をふまえて上で実施設計レベル(基本建築図面、軸組み図、構造伏図、矩計図、建具表等)の能力を身につけることを目標としている。</p>											
授業方法											
<p>目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。</p>											
成績評価方法											
課題	70%	設計課題を総合的に評価する									
出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>この授業では、段階に進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては学生と講師のコミュニケーションを多くとり、理解度と想像力を高めることを目的としている。そのためにも、エスキス・スタディーを授業前には準備して取り組むことを求めている。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先される。したがって記述内にしっかりと成果物を提出することが求められる。</p>											
教科書教材											
<p>初学者の建築講座-建築計画 (第3版)、第3版コンパクト設計資料集成 (丸善)、建築デザイン製図 (学芸出版社) / 配布資料</p>											
回数	授業計画										
第1回	建築概要の検討・敷地選定 敷地・テーマの選定 (問題発見) ・エスキス										
第2回	建築概要の決定、敷地の調査 敷地・テーマの調査 (建築概要の検討)										
第3回	建築概要の決定 敷地・テーマの調査 (建築概要の検討)、建築概要の決定										
第4回	建築概要・敷地調査 発表講評会 各自で調査・決定した内容の発表・聴講										
第5回	基本設計① 案の骨格検討										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
設計製図 4	
第6回	基本設計① 案の骨格検討
第7回	基本設計③ 案の骨格検討
第8回	プランの決定 基本案の検討終了
第9回	ダイアグラム、プランのまとめ 配置図・平面図・断面図、スケッチ等の作成
第10回	講評会 午前（各スタジオ）・午後（全体発表会）
第11回	各種図面作成 立面図・断面図・構造図等作成／模型（冬期休暇中制作）
第12回	各種図面作成 パース、3D図面等作成／模型作成
第13回	模型作成 図面、模型のブラッシュアップ
第14回	模型作成 図面、模型のブラッシュアップ
第15回	講評会 午前（各スタジオ）・午後（全体発表会）